

施策：	17	子育て支援の推進	財務コード	01030208-03-00
基本事業：	04	幼保サービスの充実	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	待機児童数（保育所） 待機児童数（放課後児童クラブ） 保育サービスの満足度		担当課	下見保育所
			担当係	下見保育所



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
・日頃保育所を利用していない市内に住む生後50日から就学前の乳幼児、及びその保護者。 （出産・介護などによる一時的な市内在住者を含む）		・保護者の就労や職業訓練、私的理由からのリフレッシュ、保育者の入院、出産、冠婚葬祭などの理由で家庭保育ができない時に有料の保育サービスとして一時的に預かり保育を行う。 登録制、事前予約が必要。 【利用料金】 3歳未満児：一日2500円 半日1300円 3歳以上児：一日1800円 半日1000円 【時間】平日 7:00～18:00 土曜 7:00～17:00 【手続】 申請書提出 指定病院での健康診断 面接 アレルギーの子は要診断書				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
・保護者の様々な需要に応じた保育サービスを提供することにより、保護者の育児に伴う心理的、身体的負担の解消を図ります。そして人権意識の向上を図ります。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
・一時保育年間登録者数	人	55	55	100	60			
・一時保育年間利用総数	人	1,155	1,153	1,200	1,160			

5. コスト								
事業費	計	千円	5,472	6,552	7,892	8,457		
	国	千円	1,308	1,662	1,080	1,560		
	県	千円	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0		
	その他	千円	1,936	3,383	3,300	1,980		
	一般	千円	2,228	1,507	3,512	4,917		
正職員人工数	人工		0.6	0.6				
正職員人件費	千円		4,753	4,637				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	5,472	11,305	12,529	8,457			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	・子育て家庭への保育サービスとして定着してきてはいるが、いきいき保育園の開所に伴い登録者数が減少した現状がある。保護者の就労（週3等）で利用されるケースがほとんどである。 ・3歳未満児（0～2歳児）の利用者が多い。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）				
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、一時預かり事業はシルバー人材センターやその他の認可外保育施設で実施している。
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし	
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地あり	
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし	
成果向上余地	大きい			

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）	
様々な家庭背景世帯の利用増加がある。また近年要支援の家庭が増えており、子育ての相談にのったりアドバイスをしたりと、継続した支援が必要である。	
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）	備考・特記事項 or 進行管理欄
・家族の形態が変化し、核家族が増加。身近に育児相談ができる人がいない、子どもを預けて外出ができない等、子育て環境が悪化している。 ・保育所を利用していない子育て家庭への保育サービスとして定着。定期的な利用者も多い。	特になし